

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名 (Bone marrow donor support), 事業区分 (New/Continued), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy Framework), 財務会計上の位置付け (Financial Accounting Positioning), and 予算科目 (Budget Item).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table for (1) Summary of Business Activities, divided into ① Overview and ② Business Content/Methods/Order.

(2) Business Activity Methods, Targets, Intentions, and Indicators/Indicator Value Shifts

Table for (2) with columns for ① Methods, ④ Activity Indicators, ② Targets, ⑤ Target Indicators, and ③ Intentions, ⑥ Result Indicators.

(3) Shift of Investment (Business Expenses)

Table for (3) showing investment shifts by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel (Regular employees).

Table for (3) comparing 30th year actual business expenses (千円) and 01st year budget (千円).

Table for (4) Implementation Content of the Current Year, divided into 01st, 02nd, and 03rd year content.

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業	事務事業No.	10302000998	所属課	健康推進課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成26年1月1日から「造血幹細胞移植推進法」が施行され、骨髄等の提供の推進に関する施策の策定・実施が地方公共団体の責務とされた。また茨城県ではH28年度より骨髄バンクドナー助成費補助事業が開始となり市町村に対して県が事業費の2分の1を負担することになった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 骨髄提供をするには仕事等を休むことになるため、休暇制度のない企業・団体に所属している方に対して、骨髄移植を実施しやすい環境づくりを提供できるのでとても良いとの声がかかれた。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている より多くの、善意による移植の実現及びドナー登録者の増加をはかることは地域医療の充実に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 施策体系とも結びついているので、市が助成金を出すことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 骨髄移植ドナー支援事業について理解してもらうため、趣旨について周知徹底を図れば増加が望める。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 骨髄バンク事業におけるドナーの負担軽減が図れず、またより多くのドナー登録者の増加も見込めない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 骨髄移植ドナー支援事業の特異性により他の手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 職員1人の対応となるため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 骨髄移植ドナーの骨髄提供に係る通院または入院の仕事を休んだ助成金となるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 一人でも多くの患者を救うために、ドナーの負担軽減と登録者数の拡大を図る必要があることから、今後も骨髄移植ドナー助成金の交付を継続し、事業の周知に努める。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×		低下			×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下			×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対象者が限られている事から、該当する人は少ないと思われるが、事業の周知を継続して行っていく。																							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---